



これまでのNICの取り組み 2019-20シーズン

2019年12月、ひらふパトロールとシーズン前の打ち合わせ

- 「救急車が不要なケースでも救急車要請をしている…」
- 「救急車じゃなくてもいいでしょと思うけど、タクシーを待てない」
- 「白馬や海外のスキーリゾートでは安易に救急車要請をしない」
- 「軽症なのに救急車を呼ばないといけないことに罪悪感を抱く」

2020年1月、患者送迎車NIC Vanを導入

2020年1月25日

- ▶ オーストラリア最大級のスキーリゾート”Thredbo“
- ▶ スキーパトロール Chris Hoy、看護師 Philippa Macris と勉強会
 - ▶ オーストラリアにおけるスキーパトロールの役割
 - ▶ 外傷のマネジメント方法
 - ▶ パトロール～医療機関の連携



これまでのNICの取り組み 2020-21、2021-22シーズン コロナ禍

- 流行初期から発熱患者を受け入れ
- 発熱外来の設置
- 職域ワクチン、自治体ワクチン接種
- 感染対策をしながらスキー場傷病者の受け入れ継続





コロナ禍、最前線となった発熱外来



- 個室が4つ
- C19、インフルエンザ、溶連菌などの迅速検査が可
- 冬季は1日あたり20～30名の患者を診察

What's New in Hokkaido

Niseko International Clinic provides free PCR tests and completely private rooms for outpatients with a fever



これまでのNICの取り組み 2022-23シーズン

- タクシー問題が深刻化、ひらふ渋滞問題
→軽症でもタクシー代わりに救急車要請！
- NIC Van要請をもらうも、**人手不足**で配車できなかったケースあり
- ドライバーの人員を増やし、傷病者受け入れ体制を強化する必要性が浮上



これまでのNICの取り組み 2023-24シーズン

- 2023年7月にThredbo Medical Centerへ視察
 - パトロール・医療者・救急隊が連携することで、地域医療をサポート
- NIC Vanに加えて、救急車導入＋患者送迎車一台導入
- ドライバーの増員（フルタイム1名＋パートタイム3名）
- 国外からの医学生を受け入れ再開
 - オーストラリア3名
 - ドイツ1名
- 医師をパトロールに派遣、現場での迅速な治療を模索中
- ニセコウェルネスセンター(NWC)開業
 - 理学療法、フィットネスを提供



ひらふ地区診療所に救急車 リゾートでの搬送増に対応 軽症の外国人ら対象

会員限定記事

2024年2月4日 19:01

あとで読む



NICが導入した救急車。オーストラリア人の医学生が同乗し外国人患者の対応に当たる

【倶知安】町ひらふ地区唯一の総合診療所、ニセコインターナショナルクリニック（NIC、師井邦竹院長）は今冬、ニセコ地域のリゾートでけがをするなどした外国人らを同院へ運ぶ救急車を導入した。コロナ禍の入国制限が緩和された昨冬以降、外国人客の来訪が急回復し、スキー場周辺で救急車の要請が増加。同地区の交通渋滞も課題となる中、患者の迅速な搬送につなげる狙いだ。

同院は無床診療所で、主に軽症患者の診療に当たる。これまで専用ワゴン車で患者を運んでいたが、スキー客の増加に伴い交通渋滞が深刻化。時間帯によって、最も近いニセコ東急グラン・ヒラフスキー場まで、平時の6倍の30分ほどかかることもあるという。

救急車6台を配備する羊蹄山ろく消防組合消防本部（倶知安町など7町村）によると、昨年12月1日～今年1月22日の救急搬送の全体件数は前年同期比24件増の523件で、うち外国人観光客は43件増の138件。路上での転倒や宿泊施設での腹痛、発熱といった、スキー場以外からの救急要請も多く、半数は軽症という。ニセコ地域のタクシー不足も影響し、「救急車をタクシー代わりに呼ぶ例も目立つ」（担当者）。

こうした事態を受け、同院は救急車の導入を決め、1月15日に運用を始めた。現場への到着時間は導入前の半分に短縮。ワゴン車と併用し、緊急性の高い患者を救急車で搬送している。

また、同本部によると、昨季はスキー場でけがをした人の約9割が倶知安厚生病院に搬送されており、入院の必要がない軽症患者が同病院へ流れるのを防ぐことにもつながるといふ。

師井院長は「地域の救急医療を守るため、ゲートキーパーの役割を担いたい」と強調。海外のリゾートではスキー場内に看護師らが常駐する救護室があるといい、「将来的にはリゾートの診療はリゾートで完結させられる受け入れ態勢の整備が必要」と話す。（加藤遥花）

2023-24 シーズン

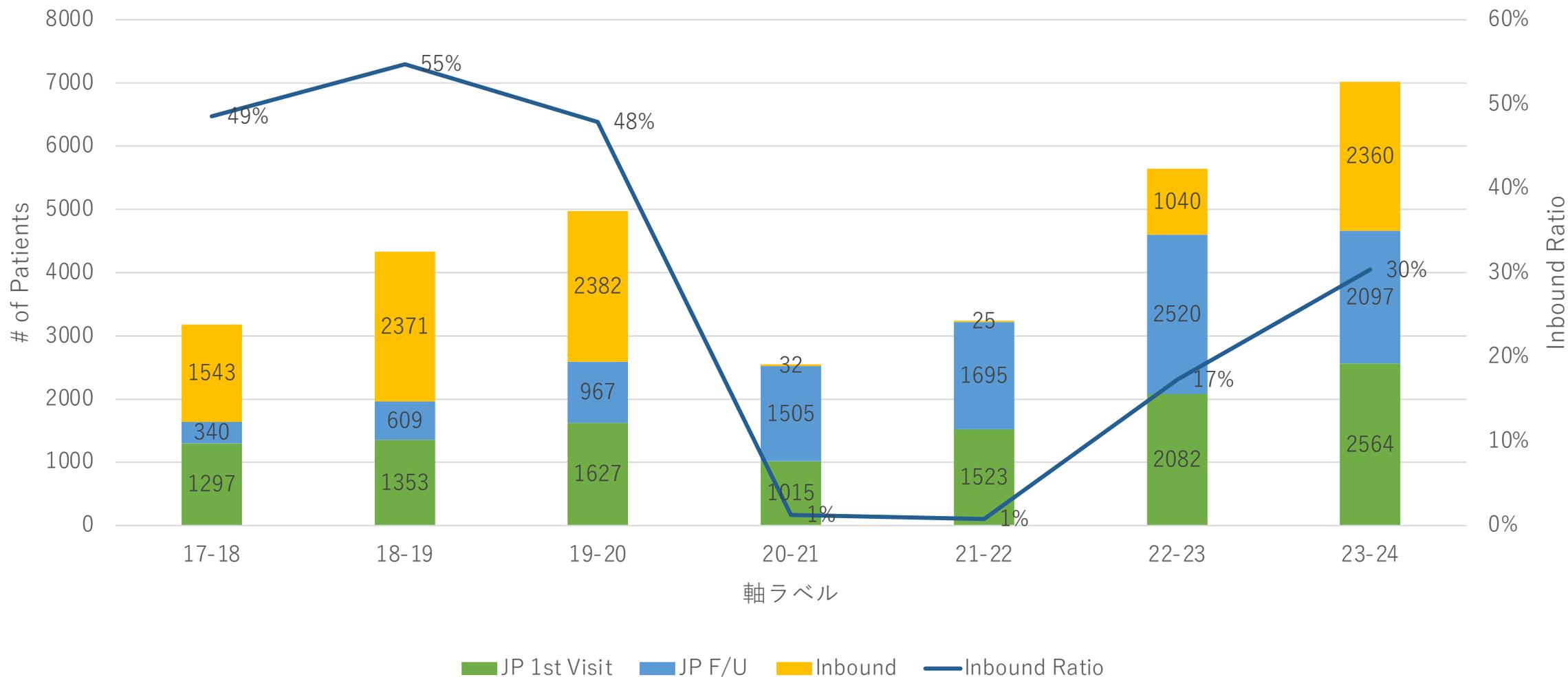
診察件数 **約7000件**

前年比24%増、2019-20シーズン比 41%増、保険診療件数は約80%増

インバウンド患者数はコロナ禍前の水準に戻った



Domestic vs Inbound Ratio

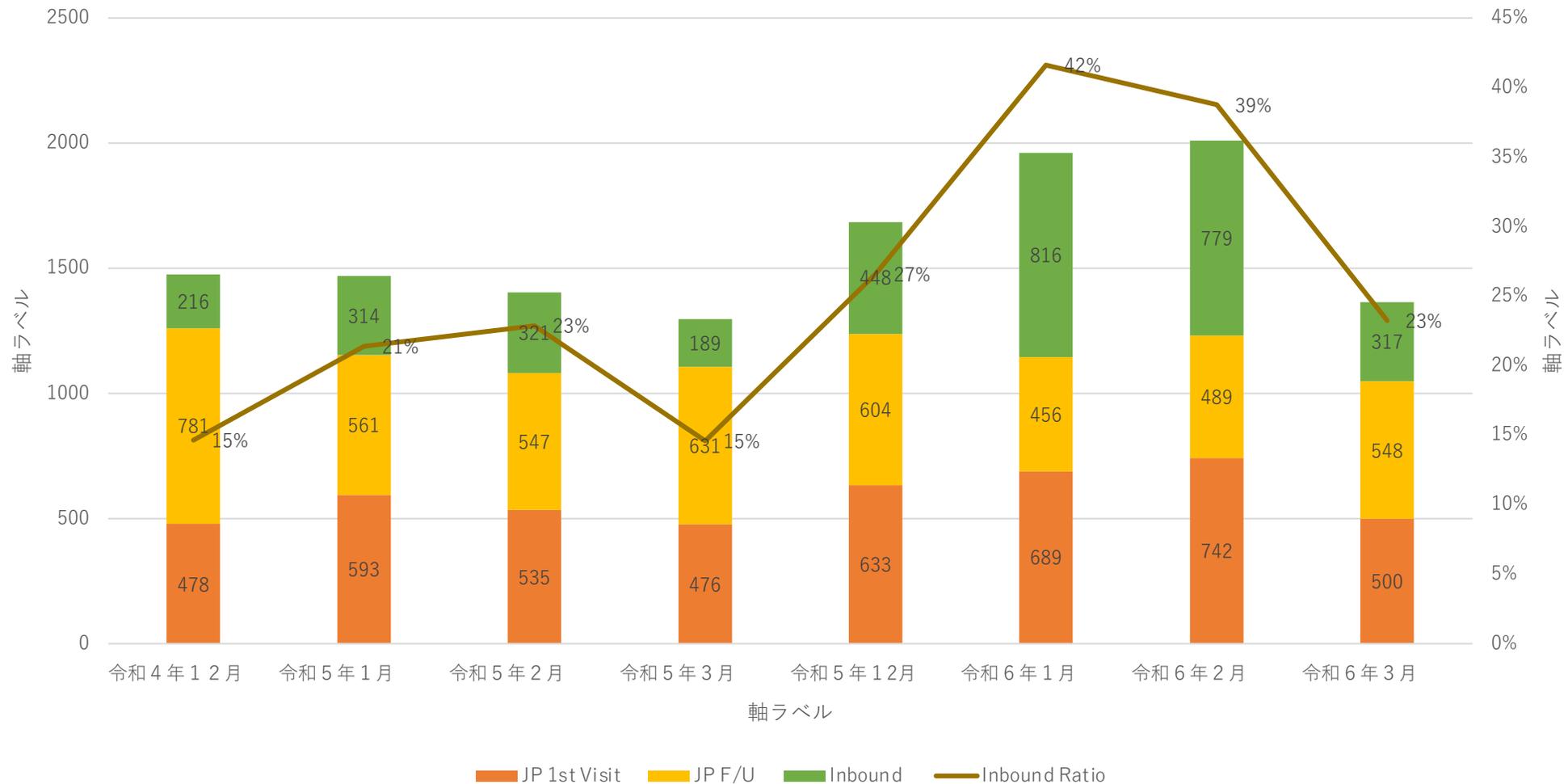


月毎の診察件数

2月 > 1月 > 12月の順が多い
インバウンドは1月が最多



Domestic vs Inbound by Month





2023-24シーズン

- NIC x スキーパトロールの連携がより強化された
- 迅速な患者搬送に繋がり、患者から感謝されることが多かった
- ゲレンデピックアップは**234件 + α**
 - 外国人 89% > 日本人 11%
 - ひらふ 68% (169件)
 - 花園 15% (34件)
 - NV 12% (28件)
 - アンヌプリ 1% (3件)